

マイナポイント手続支援事業

市民部市民生活課
電話: 457-2130

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	安全・安心・ 快適	57,688	57,688	0	0	0

※戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等事業

目的	マイナポイント事業の円滑な利用環境を整備し、市民の利便性向上及びマイナンバーカード交付率向上を図る。						
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年6月に国の「マイナポイント第2弾事業」のうち、マイナンバーカードの健康保険証利用及び公金受取口座の登録にかかるポイント付与が開始予定。 ・国は各自治体に対し、事業の円滑な実施に向けた環境整備を要請している。 						
事業内容	<p>1 マイナポイントの予約・申込み等支援窓口の設置</p> <p>(1) マイナンバーカードの健康保険証としての利用申込みを支援</p> <p>(2) 公金受取口座の登録支援</p> <p>(3) マイナポイントを受け取るキャッシュレス決済サービスの設定支援</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>支援窓口設置場所</th> <th>設置期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中区役所（市役所）内</td> <td>令和4年7月1日～令和5年2月28日</td> </tr> <tr> <td>東・西・南・北・浜北・天竜区役所内</td> <td>令和4年8月1日～令和5年2月28日</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 コールセンターの設置</p> <p>マイナポイント受け取り等にかかる市の問い合わせ対応専用ダイヤルを設置 設置期間 令和4年7月1日～令和5年2月28日（2回線以上）</p>	支援窓口設置場所	設置期間	中区役所（市役所）内	令和4年7月1日～令和5年2月28日	東・西・南・北・浜北・天竜区役所内	令和4年8月1日～令和5年2月28日
支援窓口設置場所	設置期間						
中区役所（市役所）内	令和4年7月1日～令和5年2月28日						
東・西・南・北・浜北・天竜区役所内	令和4年8月1日～令和5年2月28日						



マイナポイント 第2弾 今度は最大 **20,000円分** もらえる!

はじまっています!



マイナンバーカードの新規取得等* **5,000円分** + 健康保険証としての利用申込み **7,500円分** + 公金受取口座の登録 **7,500円分**

6月頃開始!



マイナポイント
受取支援の窓口



マイナポイント
受取支援の
コールセンター

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	1,791	0	0	1,600	191

※地域共生推進事業

※財源(その他)一般寄附金

目的	ふるさと納税の仕組み等を通じて市内外から寄附金を募り、ウクライナからの避難民に対して生活準備金の支援を実施する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月11日の記者会見において、相談窓口の設置や市営住宅の提供などの避難民受入れの支援を表明した。 個人や団体・企業から、住居提供、就労支援等の申し出がある一方、避難者個人へ生活費を支援する仕組みがなく、支援体制の構築が急務となっている。
事業内容	<p>寄附金を活用し、本市で受け入れたウクライナ避難民に対し、生活準備金を支援する。</p> <p>1 寄附金の募集</p> <p>(1) ふるさと納税ポータルサイトでの寄附受付</p> <ul style="list-style-type: none"> 受付期間 令和4年4月15日(金)から7月31日(日)まで 申込方法 ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」内から申込み 備考 当該寄附に伴うお礼の品はなし <p>(2) 市窓口での寄附受付</p> <ul style="list-style-type: none"> 受付期間 令和4年4月15日(金)から7月31日(日)まで 申込方法 寄附申込書を郵送、メール又は持参(後日、市から納付書を送付) 受付窓口 国際課 <p>2 生活準備金の給付</p> <ul style="list-style-type: none"> 支給対象者 ウクライナ国籍を有する避難民で浜松市に住民票登録している者(国内の他市町村から転居した者は除く) 支給額 1世帯当たり50万円(単身者は30万円)



生活準備金の給付



ウクライナ避難民

ふるさと納税・市窓口での寄附金募集

書かないワンストップ窓口事業

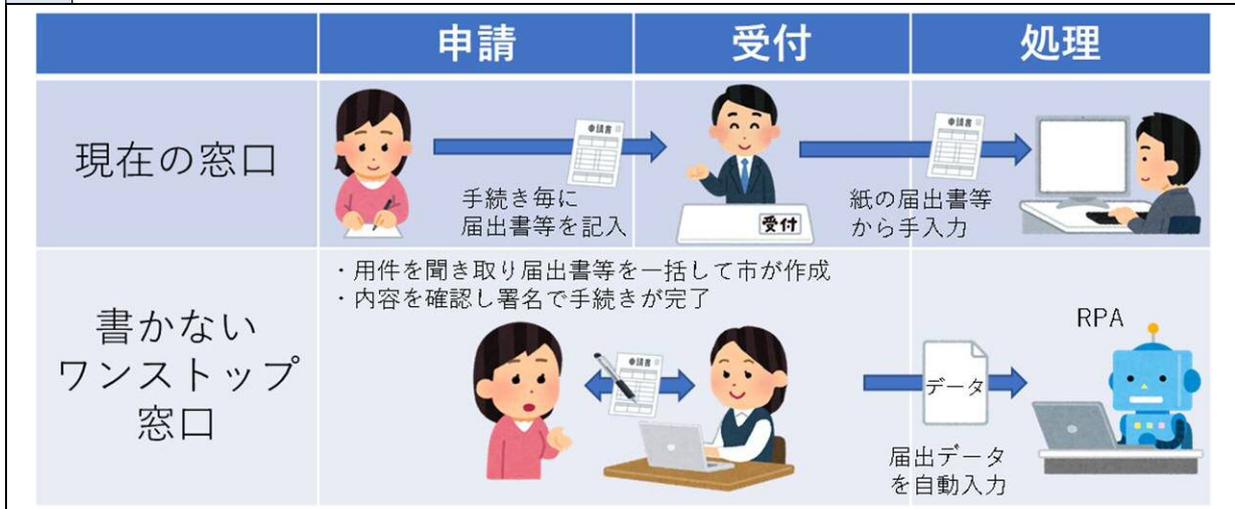
デジタル・スマートシティ推進事業本部
電話: 457-2454

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治・ 都市経営	155,567	155,567	0	0	0

※デジタル・ガバメント推進事業 222,487 千円の一部

目的	市民が届出書等の記入などにかかる手間を省き、署名だけで手続きができる「書かないワンストップ窓口」の導入により市民満足度の向上と業務の効率化を図る。												
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ窓口では、職員に求められる判断が複雑化し、人材の育成や待ち時間を含めた窓口対応時間の長期化が課題となっている。 ・北見市や深谷市などが「書かない窓口」を先行導入しており、デジタル田園都市国家構想推進交付金（TYPE1）において、本市を含む 71 団体が交付決定を受けている。 												
事業内容	<p>「書かないワンストップ窓口」を実現するシステムを導入する。</p> <p>1 システム導入による効果 職員が市民から用件を聞き取り、システムに入力することで以下の効果を実現</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>主要機能</th> <th>機能内容</th> <th>効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>届出書等作成機能 (市民の届出書等作成支援)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が手続きに必要な事項を窓口で聞き取り、システムに入力して届出書等を印刷 ・市民は内容確認、署名のみで手続きを完結 </td> <td>市民が複数の届出書等を記入し提出する作業を省略</td> </tr> <tr> <td>窓口対応ナビゲーション機能 (職員の窓口対応支援)</td> <td>個々のケースに応じて必要な手続きを職員に提示</td> <td>窓口業務の時間短縮、正確性の向上</td> </tr> <tr> <td>自動入力機能 (業務の効率化)</td> <td>各業務システムにデータを自動入力</td> <td>職員のシステム入力作業を省略</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 運用開始 令和 5 年 2 月予定</p>	主要機能	機能内容	効果	届出書等作成機能 (市民の届出書等作成支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が手続きに必要な事項を窓口で聞き取り、システムに入力して届出書等を印刷 ・市民は内容確認、署名のみで手続きを完結 	市民が複数の届出書等を記入し提出する作業を省略	窓口対応ナビゲーション機能 (職員の窓口対応支援)	個々のケースに応じて必要な手続きを職員に提示	窓口業務の時間短縮、正確性の向上	自動入力機能 (業務の効率化)	各業務システムにデータを自動入力	職員のシステム入力作業を省略
主要機能	機能内容	効果											
届出書等作成機能 (市民の届出書等作成支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が手続きに必要な事項を窓口で聞き取り、システムに入力して届出書等を印刷 ・市民は内容確認、署名のみで手続きを完結 	市民が複数の届出書等を記入し提出する作業を省略											
窓口対応ナビゲーション機能 (職員の窓口対応支援)	個々のケースに応じて必要な手続きを職員に提示	窓口業務の時間短縮、正確性の向上											
自動入力機能 (業務の効率化)	各業務システムにデータを自動入力	職員のシステム入力作業を省略											



戸籍システム改修事業

市民部市民生活課

電話: 457-2130

(単位: 千円)

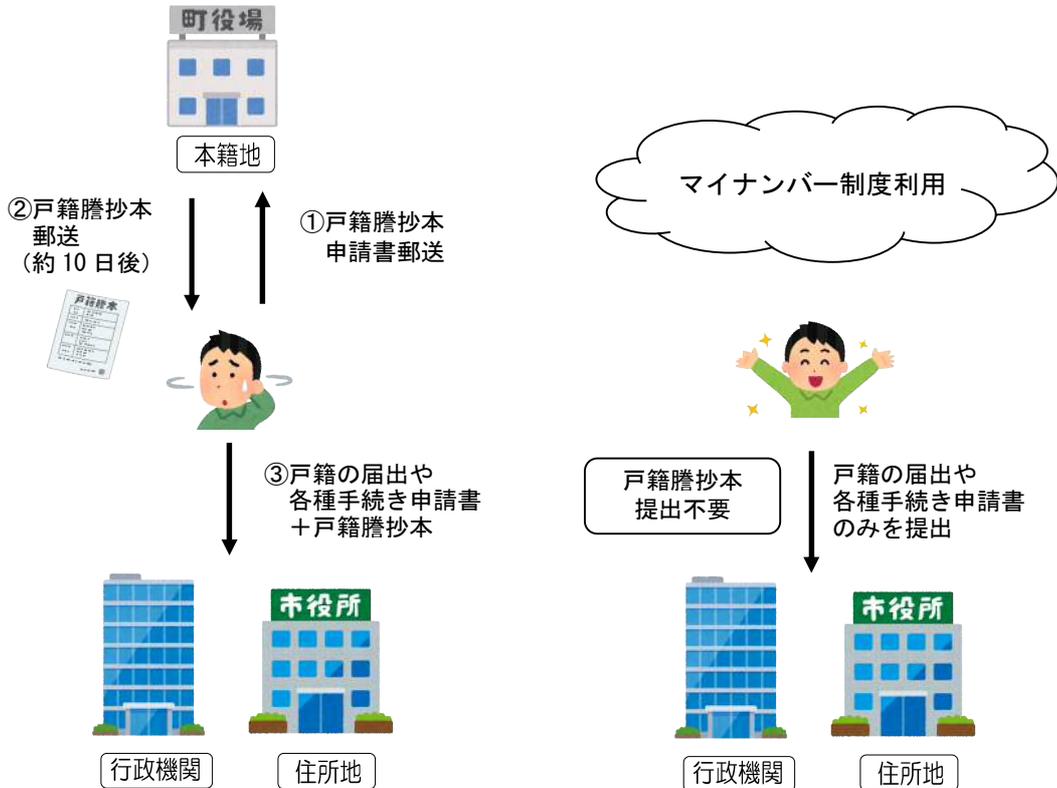
予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	安全・安心・ 快適	31,375	31,125	0	0	250

※市民窓口デジタル運営経費

目的	戸籍法の改正に基づき、戸籍システムを改修し、市民の利便性向上を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年5月に戸籍法の一部を改正する法律が成立した。 令和5年度中の運用開始を目指し、令和2年度から戸籍システムの改修を進めている。
事業内容	<p>法務省が構築する戸籍情報連携システムとのデータ連携にかかる改修を実施。マイナンバー制度を利用した以下の市民サービスに対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種社会保障手続きにかかる戸籍謄抄本の提出不要化 戸籍の届出における戸籍謄抄本の提出不要化 本籍地以外の市区町村での戸籍謄抄本の発行

現状

制度運用後



アクトシティ浜松 Aゾーン改修事業

市民部創造都市・文化振興課

電話: 457-2417

(単位: 千円)

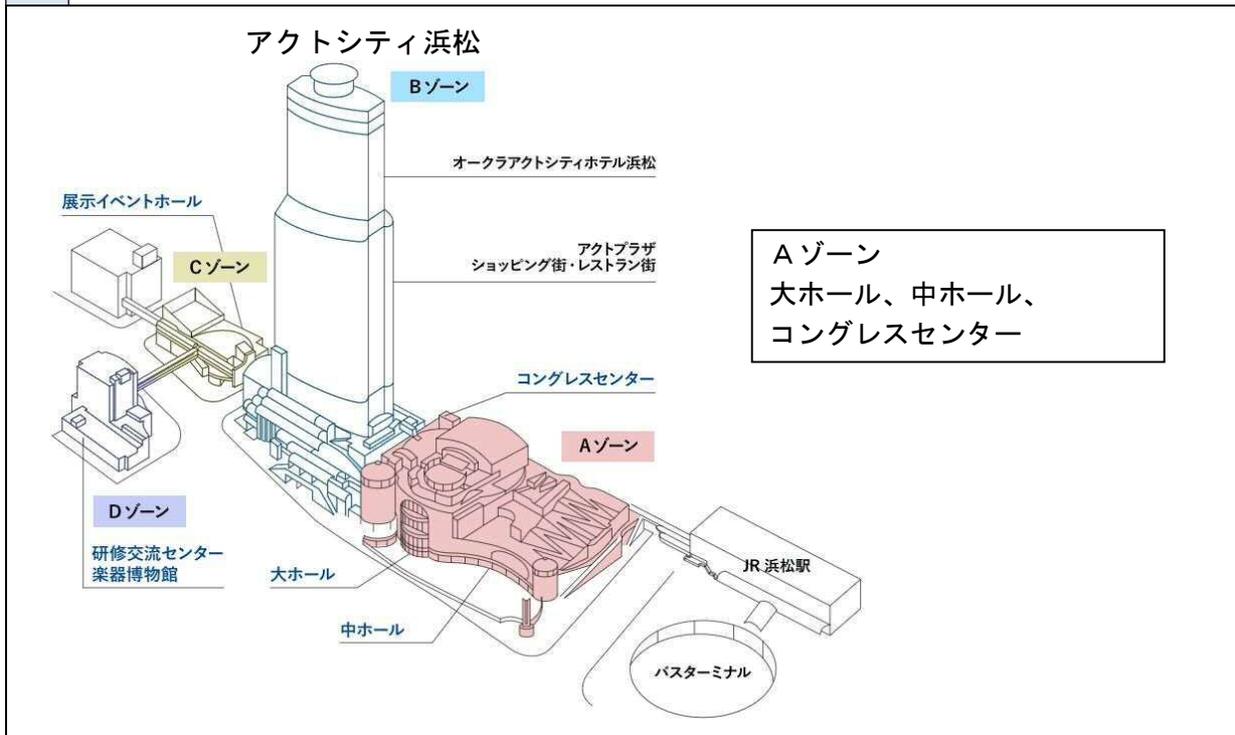
予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	66,007	0	0	0	66,007

※文化施設整備事業

※債務負担行為 事項: アクトシティ浜松 Aゾーン改修基本設計業務委託費

期間: 令和5年度まで 限度額: 154,014千円

目的	アクトシティ浜松において、施設の安全安心な利用を図るため、老朽化した設備を更新する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・建設後27年が経過し、老朽化した施設設備が更新時期を迎える。 ・令和3年度から特定天井の改修及び舞台機構の更新について、基本計画を策定している。
事業内容	<p>大規模改修工事の施工にあたり、基本設計により改修範囲や改修手法の比較などを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アクトシティ浜松 Aゾーン改修基本設計業務 220,021千円 特定天井、大ホール舞台特殊設備、電気設備、機械設備などの改修工事にかかる基本設計を実施する。(令和4年度66,007千円、令和5年度154,014千円) 2 スケジュール 令和4年度～令和6年度 設計(基本・実施) 令和7年度以降 改修工事



江之島ビーチコート整備事業

市民部スポーツ振興課
電話: 457-2421

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	14,014	7,007	0	0	7,007

※ビーチ・マリンスポーツ推進事業

目的	国内最大級のビーチスポーツ施設「江之島ビーチコート」を整備し、ビーチ・マリンスポーツの推進を図る。	
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチ・マリンスポーツ事業化計画に基づく、江之島ビーチコートの整備について効果的かつ効率的な発注工程や運営を図るため、民間活力の導入を検討する。 ・民間事業者導入調査を実施するため、国土交通省の助成事業「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」に応募し、令和4年4月に採択された。 	
事業内容	<p>国内最大級のビーチコート整備にあたり、民間事業者の経験や知識を最大限に活用した、効果的かつ効率的な発注工程や運営の検討を行う。</p> <p>1 発注支援業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者参入可能性ヒアリング ・PPP/PFI手法の採用に伴う業務分担及びリスク分担の整理 ・公園や防潮堤と連携した地域活性化、観光資源としてのポテンシャル調査 ・事業者選定基準、要求水準書の作成 など <p>2 スケジュール</p> <p>令和4年6月～令和4年10月 土壌調査業務</p> <p>令和4年8月～令和5年3月 発注支援業務</p> <p>令和5年4月～ 発注支援業務に基づく一括発注</p> <p>※土壌調査による影響を見込まない最短スケジュール</p>	



全体計画イメージ図



メインスタンド棟完成イメージ

博物館収蔵品整理事業

市民部文化財課博物館
電話: 456-2208

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・生涯学習	11,842	0	0	0	11,842

※ (博物館費) 附属機関の委員等 436 千円、資料調査収集事業 11,406 千円の合計

目的	浜松市博物館収蔵品の紛失再発防止を図るため、全点把握及び整理を行うとともに、適正な資料管理体制を構築する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年11月29日に紛失を公表した収蔵品資料6件について、調査の結果5件の収蔵品が紛失していることを再確認した。 令和4年3月28日の市長定例記者会見において、再発防止対応策として収蔵品の全点把握を行うことを説明した。
事業内容	<p>博物館収蔵品の全点把握及び整理を行い、資料管理の適正化を図る。</p> <p>1 収蔵品の全点把握・整理 11,406 千円</p> <p>(1) 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 全資料の点検、資料受入簿との突合、把握不十分資料のリスト化 資料配置図の整理 <p>(2) スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度～令和5年度 本館収蔵品(約9万点)の整理、全点把握 令和6年度～令和8年度 3年間の調査計画に基づく詳細整理 令和9年度～ 分館等の収蔵品整理 <p>2 博物館資料紛失再調査委員の設置 436 千円 専門的知見を活用し、再発防止対策を進める。</p> <p>(1) 委員構成</p> <p>5人(浜松市博物館協議会委員、博物館管理運営手法検討アドバイザー、弁護士、公認会計士、元警察官等)</p> <p>(2) 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討会の開催 5月から10月末にかけて8回を予定 5月～6月 調査報告、追加調査にかかる検証 7月～8月 再調査結果に対する意見聴取など 9月～10月 再発防止策の提言
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>浜松市博物館本館</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>本館常設展示</p>  </div> </div>

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
民生費	健康・福祉	121,397	121,397	0	0	0

目的	新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯に対して、自立支援金を支給することにより、就労による自立を促す。																				
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴い、国は令和3年6月に新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金制度を創設し、総合支援資金等の特例貸付による支援が受けられない生活困窮世帯に対する給付金支援を開始した。 ・令和4年2月25日の制度改正により、申請期限が令和4年3月末から6月末に延長された。 																				
事業内容	<p>1 支給見込</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当初</th> <th>5月補正</th> <th>5月補正後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給世帯数(延べ世帯数)</td> <td>825</td> <td>1,560</td> <td>2,385</td> </tr> <tr> <td>支給額(千円)</td> <td>65,460</td> <td>121,220</td> <td>186,680</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 申請期限 令和4年6月30日(3月末から3か月延長)</p> <p>3 支給額 単身世帯：60,000円、2人世帯：80,000円、3人以上世帯：100,000円(支給期間3か月間)</p> <p>4 再支給 一度に限り最大3か月間の再支給が可能</p> <p>5 対象者</p> <table border="1"> <tr> <td>条件</td> <td>①総合支援資金の再貸付が終了済、不承認、または相談をしたが申し込みに至らなかった世帯 ②緊急小口資金及び総合支援資金の初回貸付が申請期限までに終了する世帯</td> </tr> <tr> <td>収入要件</td> <td>世帯全員の申請月の収入が、次の①と②の合計額を超えないこと ①市町村民税の均等割が非課税となる収入額の1/12 ②生活保護の住宅扶助基準額</td> </tr> <tr> <td>資産要件</td> <td>世帯全員の預貯金等の資産が収入要件①の6倍以下(上限100万円)</td> </tr> <tr> <td>求職活動等要件</td> <td>公共職業安定所を通じた求職活動、または生活保護の申請</td> </tr> </table>		当初	5月補正	5月補正後	支給世帯数(延べ世帯数)	825	1,560	2,385	支給額(千円)	65,460	121,220	186,680	条件	①総合支援資金の再貸付が終了済、不承認、または相談をしたが申し込みに至らなかった世帯 ②緊急小口資金及び総合支援資金の初回貸付が申請期限までに終了する世帯	収入要件	世帯全員の申請月の収入が、次の①と②の合計額を超えないこと ①市町村民税の均等割が非課税となる収入額の1/12 ②生活保護の住宅扶助基準額	資産要件	世帯全員の預貯金等の資産が収入要件①の6倍以下(上限100万円)	求職活動等要件	公共職業安定所を通じた求職活動、または生活保護の申請
	当初	5月補正	5月補正後																		
支給世帯数(延べ世帯数)	825	1,560	2,385																		
支給額(千円)	65,460	121,220	186,680																		
条件	①総合支援資金の再貸付が終了済、不承認、または相談をしたが申し込みに至らなかった世帯 ②緊急小口資金及び総合支援資金の初回貸付が申請期限までに終了する世帯																				
収入要件	世帯全員の申請月の収入が、次の①と②の合計額を超えないこと ①市町村民税の均等割が非課税となる収入額の1/12 ②生活保護の住宅扶助基準額																				
資産要件	世帯全員の預貯金等の資産が収入要件①の6倍以下(上限100万円)																				
求職活動等要件	公共職業安定所を通じた求職活動、または生活保護の申請																				
<p>事業の流れ</p> <pre> graph LR A[申請者] -- 求職申込み --> B[ハローワーク] A -- 申請 --> C[浜松市] C -- 支給決定、振込 --> A C -- 支給決定者の情報提供 --> D[自立相談支援機関※] A -- "(支給決定後、毎月) 求職活動等の報告" --> C </pre> <p>※浜松市生活自立相談支援センター「つながり」関係機関と連携して課題解決に向けた寄り添い型支援を行う相談支援窓口</p>																					

いじめ調査委員

こども家庭部青少年育成センター
電話: 457-2418

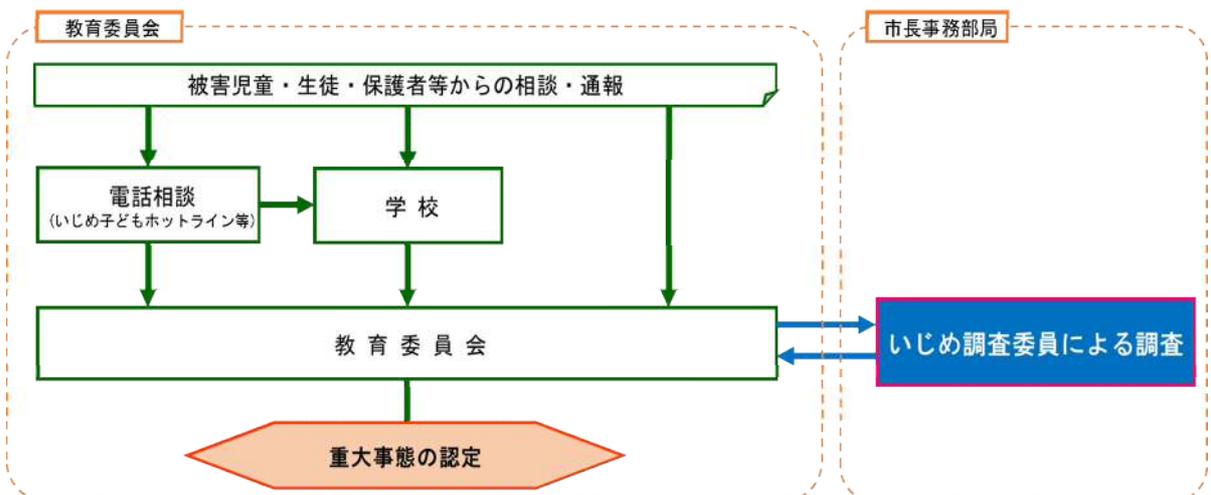
(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
民生費	子育て・教育	1,635	0	0	0	1,635

※ (青少年活動費) 附属機関の委員等

目的	専門知識を有する第三者がいじめ問題を調査することにより被害者やその保護者等の信頼を確保するとともに、事態を客観的に把握し、問題が複雑化、長期化することを防ぐため、市長事務部局にいじめ調査委員を設置する。
背景	令和4年3月、「浜松市いじめ問題再調査委員会」の答申により、学校や教育委員会におけるいじめ問題への対応について改善を求める提言が出された。
事業内容	<p>いじめ調査委員の設置</p> <ol style="list-style-type: none"> 委員構成 5人 (弁護士、精神科医、臨床心理士、学識経験者、元警察官等) 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> 学校及び市教育委員会が認知したいじめのうち、重大事態の疑いのある事案等について調査を行い、その結果を教育委員会に対し報告する。 調査は1件につき委員1人~2人が担当し、収集した資料の確認及び必要に応じて学校関係者、当事者などの聴き取りを行う。 スケジュール 令和4年6月以降 委員選任、調査開始

【市長事務部局いじめ調査委員対応チャート】



保健所体制整備事業

健康福祉部生活衛生課
電話:453-6118

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
衛生費	健康・福祉	66,935	66,935	0	0	0

※感染症対策事業

目的	新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、今後の保健所体制を整備し、業務の逼迫を防ぎつつ、ハイリスク者への確実なアプローチを早急に確保する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年1月以降のオミクロン株の感染拡大以降、保健所の業務量が飛躍的に増大している。 令和4年4月4日厚生労働省事務連絡において、今後の保健所体制として、保健所業務の逼迫を防ぎつつハイリスク者に確実に対応できるよう外部委託、本庁による業務一元化の原則が示された。
事業内容	<p>労働者派遣契約によって職員派遣を受け、保健所におけるコロナ対応業務へ柔軟に対応する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 委託業務 <ul style="list-style-type: none"> 感染症患者の健康管理に係るデータ入力 HER-SYS（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム）を活用した健康管理のためのデータ取込 健康観察に係る電話対応 各種証明書交付 パルスオキシメーターの配付・回収 食料や生活物資等の配付 派遣期間 契約締結日から令和5年3月31日まで
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>保健所業務（患者発生対応業務）</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>今回の労働者派遣によって 外部委託する業務 （健康管理等）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>保健所でなければ 対応できない業務 （患者調査等）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>本庁による 一元化をするもの （応援職員手配等）</p> </div> </div> <p>保健所業務の逼迫を防ぎ、ハイリスク者への確実なアプローチを確保する。</p>	

家康プロジェクト浜松パワーフード関連事業

産業部農業水産課
電話: 457-2333

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
農林水 産業費	産業経済	15,031	0	0	0	15,031

※食と農の地域ブランド推進事業

目的	令和5年の大河ドラマ「どうする家康」の放送決定を好機とし、本市の農林水産物やそれらを使った料理、加工品のすばらしさを、全国へ効果的に発信するため「浜松パワーフード」のブランド化を推進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携組織である家康プロジェクト推進協議会の中に「食分科会」を立ち上げ、大河ドラマの波及効果を最大にするため、官民一体となって取り組んでいる。 ・食文化を基軸として、観光や歴史、伝統文化等を組み合わせて発信することで、全国から観光客を取り込み、農山漁村の活性化に繋げる必要がある。
事業内容	<p>1 浜松パワーフードパーク開催事業 7,515 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松パワーフードの生産者が多い北区を会場に、生産者や飲食店による浜松パワーフードの販売、飲食などが主のイベントを実施する。 ・各農協、漁協をはじめ、三遠南信等の交流地域などとの連携を図る。 ・北区は「おんな城主直虎」の舞台となったことから、2つの大河ドラマを題材とした企画を実施する。 <p>2 歴史と「食」講演事業 3,683 千円</p> <p>家康公の出世ストーリーや当地域の歴史、文化と「食」について全国で活躍する有識者等を招聘し、講演会等を開催する（全3回を予定）。</p> <p>3 「出世の街 浜松」ゆかりのトップシェフ活用事業 3,833 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等で活躍する本市ゆかりのトップシェフによる新メニュー開発などを含めたイベントを首都圏等で実施する。 ・大河ドラマや家康公の出世ストーリーと関連付けたメニューとし、ガストロノミー専門誌等の招聘により、本市の魅力発信へとつなげる。
<p>「浜松パワーフード」とは ～徳川家康公をお支えた浜松・浜名湖産の旬の食材～</p> <p>浜松・浜名湖地域で生産、漁獲され、「農林水産業に携わる人の想い」や「恵まれた自然環境」を感じることができる旬の食材。</p> <p>青壮年期の17年間を浜松で過ごし、後に天下人となった徳川家康公の躍進を支えたのは、浜名湖の魚介類をはじめとするこの地域の豊かな食。浜松の旬の食材は、元気、健康につながるパワーフードである。</p>	



中心市街地等における空き店舗・空室オフィス等の活用支援事業

産業部産業振興課
電話:457-2285

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
商工費	産業経済	18,832	15,300	0	0	3,532

※商業者支援事業費助成事業（補助金）10,000千円、都心業務機能集積促進助成事業8,832千円の合計

目的	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により増加した空き店舗や空室オフィス等の遊休不動産の利活用促進や中心市街地の活性化を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗利活用に対する補助金について、令和4年度からの補助対象及び上限額拡充により、申請や相談が増加している。 ・ 都心オフィス進出支援に対する補助金について、令和3年11月の大型オフィス開設により、当初予算を上回る申請が見込まれている。
事業内容	<p>今後の申請見込を踏まえ、空き店舗利活用事業費補助金及び都心オフィス進出支援事業費補助金を増額し、より多くの事業者を支援する。</p> <p>1 空き店舗利活用事業費補助金 10,000千円</p> <p>(1) 補助内容 補助対象：空き店舗等への新規出店に伴う初期経費や改装費等 補助率：1/2 上限額：150万円</p> <p>(2) 申請見込 13件 15,500千円（当初予算：5,500千円）</p> <p>(3) 令和4年度の主な拡充内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象物件に空き店舗以外の遊休不動産（空き家等）を追加 ・ 上限額を70万円から150万円に拡充 <p>2 都心オフィス進出支援事業費補助金 8,832千円</p> <p>(1) 補助内容 補助対象：中心市街地に開設したオフィスに係る建物賃借料や新規雇用経費等 補助率：1/2等 上限額：100万円/月 等</p> <p>(2) 申請見込 8件 37,632千円（当初予算：28,800千円）</p>

活用事例（空き店舗利活用事業費補助金）



長坂養蜂場 はちみつスイーツアトリエ



双子座文具店

道路・街路事業

土木部道路企画課

電話:457-2375

(単位：千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	1,174,153	603,024	468,100	0	103,029

※関連課 道路保全課(電話:457-2425)

目的	道路の老朽化対策、適正な維持管理、近年頻発化する自然災害への対策や、道路ネットワークの整備を実施することにより、防災・減災・国土強靱化を強力に推進するとともに、市民の安全・安心・快適な生活基盤づくりを進める。
背景	近い将来、一斉に更新時期を迎える多数の道路施設を適正に管理し、産業・観光の発展を支え、持続可能な都市形成を図るため、着実な道路の整備・修繕が必要である。
事業内容	<p>国庫補助内示に伴い、道路・街路事業に対する事業費を追加する。</p> <p>1 道路事業 1,164,153 千円 (1) 維持修繕事業 1,061,153 千円 ・ 橋りょう、舗装等の長寿命化修繕 ・ 道路斜面の防災対策 ・ 交通安全施設等整備・修繕(事故危険箇所対策、通学路整備等) (2) 整備事業 103,000 千円 市道細江 11 号線外 1 線、浜北大平都田線の整備</p> <p>2 街路事業 10,000 千円 天竜川駅南口アクセス道路の整備</p>

【橋りょう修繕実施状況】



【市道細江 11 号線外 1 線整備状況】



大平台地区地下構造物調査事業

都市整備部市街地整備課
電話: 457-2366

(単位: 千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	70,157	0	0	0	70,157

※土地区画整理等調査事業

目的	佐鳴湖西岸土地区画整理事業区域内の地盤形成に関する技術的検証及び災害予防方法等を検討し、安全で安心な都市環境の確保を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年7月上旬、市道大平台83号線において地下排水管の破断が起因と想定される道路陥没が発生した。 専門家による現場検証において、上流部の状況把握のための新たな立坑設置及び管内堆積土砂に伴う機能不全の早期対処に関する意見が示された。
事業内容	<p>佐鳴湖西岸土地区画整理事業区域内の地下排水管に係る調査及び関連工事を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 地下排水管状況調査等 44,526千円 ボーリング探査等調査、地下水処理計画等策定、作業用立坑設計 関連工事 25,631千円 仮排水管設置工事



【写真の工事】

市道大平台83号線道路復旧工事

- 地下排水管を調査するために道路内に設置された立坑の様子

浜松城天守閣外装改修事業

都市整備部公園管理事務所

電話:473-1829

(単位:千円)

予算款	戦略計画 分野別計画	補正額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
土木費	安全・安心・ 快適	57,530	0	0	0	57,530

※公園施設改良事業

目的	令和5年1月からの大河ドラマ「どうする家康」放送に合わせ、徳川家康ゆかりの地である浜松城天守閣を大河ドラマ館と一体的に整備することにより、観光振興及び地域経済活性化を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松城天守閣は昭和33年(1958年)4月26日に復元されてから築64年が経過しており、天守閣外装の老朽化が進んでいる。 ・令和3年度に、浜松城天守閣の劣化調査、改修に使用する材料の検討及び改修設計を実施した。
事業内容	<p>令和5年1月の大河ドラマ館オープンに併せ、老朽化が進行する天守閣外装全般を改修する。</p> <p>1 天守閣外装改修工事 51,612千円 改修部位 屋根、外壁、金属、建具、ガラス(改修に伴う撤去を含む)</p> <p>2 天守閣外装改修工事監理業務 5,918千円</p>

浜松城天守閣 現況写真



植物の繁茂



廻縁下部ひび割れ